



防災通信



2024年10月号
和合町自主防災隊

地震がおこった時の行動（自宅にいることを想定）

- ① 命を守る行動をしましょう（揺れがおさまるまで、頭を守り、じっとしていきましょう）
- ② 揺れがおさまったら、自宅が安全かどうかを確認しましょう
- ③ 自宅に被害がなく、自身が無事であれば、黄色いタオルを玄関先に出しましょう

黄色いタオルが出ていない家は、部隊で把握後、救助等、次の活動に繋がります。

※ 黄色いタオルにより、安否、被害状況を短時間に確認し、1人でもたくさんの方の命を救うことを目的に、この方法をとります。

※ 黄色いタオルは、和合町自主防災隊より10月ごろに全世帯に配布いたします。



- ④ まずは、「**第一次緊急避難場所**」に避難しましょう。

※ 「第一次緊急避難場所」は、みんなで集合して、そろって避難所に向かうための場所ではありません。

※ 被害の状況をみんなで確認、共有し、力を合わせて災害に対処する場所です。無事であった方のご協力は必須です。困難がおこった時、地域で支え合うため、できるだけ「第一次緊急避難場所」へ集まってください。

・火が出ていたら、みんなで消しましょう。

・けが人や、動けない人がいたら、みんなで助け出しましょう

・取り残されている人がいないか、ご近所同士で声をかけ合しましょう。

（部隊単位で部隊長が中心となり安否確認、被害状況の把握を行います）



- ⑤ 状況に応じ、避難所に避難しましょう。

一斉避難ではありませんが、支援の必要な方がいる場合は、部隊の避難誘導班長や、地域住民みんなで避難のお手伝いをしましょう

避難所は、泉小学校体育館となります。ここは、和合町、泉町の合同避難所となり、あらかじめ作成された避難所開設マニュアルに基づき、両自主防災隊員、市の地区防災班員により開設準備を行います。避難してきた方々も開設準備、運営に協力していただきます

必ず確認しておくこと ①自分の地域の第一次緊急避難場所 ②家庭内の備蓄